

2026年・秋号

No.83

小美玉市議会だより
令和8年第3回定例会



小美玉市議会



P.02

特集

決算

422億円は

どう使われた？

お金の入口

赤字

いくら使った？

黒字

決算を審査

数字で見るまち

決める議会

財政の健康状態

1年間を振り返る

使い道をチェック

暮らしにどう生かされた

成果はどうだった？

財源

何に使った？

税金はどこへ？

市税

お金の流れ

歳出

公債費

予算

数字から見えること

いくら入った？

歳入

収支

お金の出口

まちの家計簿

事業の成果

今年の実りを「決算」で見てみよう！

令和7年度
決算額 **422億円**

どう
使われた？

決算特集
たいむ、

ザ・議会視点
令和7年度
市のお金の
使い方

令和7年度における小美玉市の総決算額は約422億円でした。
そのうち一般会計の支出は271億566万円で当初予算から約6億9,000万
円の増加となりました。収入は市税やふるさと応援寄附金、地方交付税などの
増加により前年度と比べ約14億7,000万円の増加となりました。

Pick UP! 議会の注目事業

くらし 住宅取得の一部を助成 940万円

若年世帯や小美玉市へ移住する方の
住宅取得費用の一部を助成することで、
人口減少の抑制と地域の活性化を図っ
ています



子育て 子育て世帯の医療費を 補助 1億3,114万円

小児・妊産婦・ひとり親家庭の方が
医療保険で受診した際の費用を一部又
は全部助成し、経済的負担の軽減を図
りました。



高齢者 敬老会事業 1,783万円

高齢者の長年の社会貢献に対し、感
謝と敬老の意を表し、市民自らが福祉
に対する理解と協力を深めました。



防犯 防犯施設を整備 1,539万円

犯罪防止と事件・事故の防止を目的
に、防犯カメラや防犯灯を設置し、地
域防犯力の推進を図りました。



畜産 高騰する畜産飼料へ 購入支援 1,905万円

牛が食べる飼料（干し草）の高騰に
伴い、購入支援金を支出することで
畜産経営の負担軽減を図りました。



教育 旧キャトル・セゾンを 改修 6,743万円

旧キャトル・セゾンを改修し、子ども
の新たな居場所として整備しました。





妊産婦タクシー
については
こちら
(市HP)



ALT 英語
については
こちら
(市HP)

利用低迷、制度周知を

出産・子育て応援事業

妊産婦タクシー利用補助金
(1万円)

妊産婦が妊産婦健診・出産等で医療機関へタクシーで通院する場合の運賃に対して支払う補助金

Q 妊産婦タクシー利用補助金の当初予算25万円に対し、決算額は1万円で執行率4%だった。評価と分析を伺う。

A 妊産婦タクシーの執行率は4%で申請件数は1件だった。妊娠届出時に制度の内容などについて説明はしているが、利用が少ない状況となっている。必要な方へ支援ができるよう、今後も引き続き、妊娠届出時には丁寧な説明を行い、利用促進に努めていく。



妊産婦の健診や出産時の通院を支えるタクシー利用補助制度

決算に関する主な質疑 ALT活用で英語力向上

語学指導経費

外国語指導助手派遣業務委託料
(6,105万円)

市内小・中学校、市立幼稚園にALT(外国語指導助手)を派遣し、英語教育の充実を図るもの

Q この事業により、児童生徒の英語力がどの程度向上したのか伺う。

A 全ての外国語や英語の授業では、毎時間ALTを活用した授業を行うだけでなく、外国とのオンラインブレンドディッド授業やプレゼンテーションフォーラムの指導、台湾交流の際の支援、教職員の英語研修等、様々な場面でALTを活用した。

その結果、令和7年度の中学3年生のCEFR A1レベル(英検3級)相当の英語力を有する生徒の割合は59.3%で前年度より3.9%向上した。



ALTとの対話や交流を取り入れて実践的な英語力を育む授業

妊産婦タクシー

市内や近隣に出産可能な医院はなく、陣痛時などの肝心な時は使用できない。おむつ券など経済的な支援をいただければいいと思います。

20代・女性(小川)



外国語指導助手派遣業務

グローバル化の現在、英語力向上は重要で、ALTは必要不可欠。教育の原点に戻り、活用方法を工夫し、学習意欲の向上につなげることを願います。

こばやし よしはる
小林 義治さん(東平)



ザ・議会視点 令和7年度 市のお金の 使い方



プレミアム商品券
については
こちら
(市HP)



国際交流
については
こちら
(市HP)

商品券のデジタル化へ

元気再生プレミアム商品券発行事業 補助金

(4,700万円)

市内の個人消費の喚起や市商業の振興と活性化を図るもの。

Q プレミアム商品券のデジタル化に向けた進捗を伺う。

A 現在、電子決済キャリア（PayPayやNTTなど）への聞き取り調査及び、近隣市町におけるデジタル化の移行状況に関する調査を実施している。

併せて、商品券購入者を対象にデジタル化に関するアンケート調査を行っている。これらの調査結果を踏まえ、令和9年度の実施に向けて、一部試験的な導入を前提に商工会と協議を進める。



市内での買い物を後押しし、地域の商業活性化につなげる商品券

国際交流の推進

国際交流活動事業

(776万円)

国際交流ひろばなどの事業を開催し、市民に対し国際交流への理解と国際感覚の育成を図るもの

Q 年々増加する市内在住外国人との共生に関してどのように対応していく考えか伺う。

A 年々増加する外国人住民との共生に向け、生活に必要な情報の多言語化や日本語学習支援を進めていく。また、日本語教室や国際交流イベントなどを通じて、外国人住民と地域住民が交流できる機会の充実を図る。また、地域活性化起業人との連携や多言語翻訳機を有効に活用し、県・国の支援も得ながら、外国人住民が地域の一員として安心して暮らせる環境づくりを進める。



日本語教室や交流の場を通じて、外国人住民と地域とのつながりを育む

プレミアム商品券

利用者の利便性向上が期待できる取組であり、アンケート結果を反映し、着実にデジタル化を進めてほしいです。

すずき ひろあき
鈴木 裕明さん（堅倉）



国際交流活動事業

決算を踏まえて国際交流の現場の現状に即したメリハリをつけた予算を組んで欲しいと思います。

ぐんじ まちこ
郡司 真知子さん（本田町）



文教福祉 常任委員会



◎山崎晴生



○宮内勇二



市村文男



田村昌男



大槻良明



谷仲和雄



内田和彦

◎：委員長 ○副委員長



学びや体験を通して、仲間との絆を深める修学旅行

**一般会計補正予算
参加費補助金**
◎ 学校行事のスキー教室と修学旅行に対する参加費補助金は、国からの物価高騰に係る臨時交付金を活用し今回補正計上されたが、次年度以降も継続されるか伺う。
▲ 次年度も継続したいと考えている。

個人情報の利用・提供に関する条例改正
◎ 予防接種事務デジタル化の概要を伺う。
▲ 今まで紙で行ってきた事務（予診情報、接種記録、費用請求）を国の共通システムで一体的に管理するもの。接種者は、スマホで予診票の事前入力が可能となる。

文教福祉常任委員会



第3回定例会の
全議案の審議結果はこちら
(市議会HP)

ピック アップ



委員会審査

小美玉市議会は3つの常任委員会（総務・文教福祉・産業建設）を設置しています。議員はいずれかの委員会に属して議案審査にあたります。
第3回定例会の議案審査から、主な質疑をお知らせします。

議会の / ちょっと いいはなし

子育て世帯へ 新たな支援を決定！

市内学校に就学する生徒の保護者に対し、スキー教室参加費補助金20,000円、修学旅行参加費補助金30,000円を支給する補正予算（案）が示されました。

質疑では来年度以降も継続事業とする方向性が示されるなど、執行部から前向きな答弁を受けました。慎重なる審議の結果、全会一致で可決されました。



産業建設
常任委員会



◎島田清一郎



○鬼田岳哉



福島ヤコビ



岩本好夫



長津智之



香取憲一

総務
常任委員会



◎真家 功



○戸田大我



荒川一秀



長島幸男



村田春樹



鈴木俊一



地域の農業を支える担い手

一般会計補正予算
農業支援サービス事業補助金
Q 農業支援サービス事業補助金の詳細は。
A 農業者の高齢化や減少に伴い、農業者の作業負担の軽減を図るため、農作業の受託など農業者を支援するサービスを担う事業者の育成を目的に支援するもの。

※ 農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー
Q 農作物野生鳥獣被害対策アドバイザーの役割は。
A 農林水産省の人材登録制度に位置づけられている農作物野生鳥獣被害対策アドバイザーに対する委託料。
※ 野生鳥獣による農作物被害などを防ぐため、被害状況の調査や防護柵の設置、効果的な対策について助言する専門家のこと

産業建設常任委員会



PCB廃棄物を適正に処分

※ 一般会計補正予算
PCB処分委託料
Q PCB処分委託料の内容を伺う。
A 旧玉里給食センターにおいて、キュービクル施設にあるPCB含有コンデンサーと変圧器の計2台を処分する費用である。
※ 電気機器の絶縁油などに使用されていた有害な化学物質。人体

や環境への影響があるため、適正な処分が必要
行政区集会施設整備費補助金
Q 行政区集会施設整備費補助金の申請件数と内容を伺う。
A 7地区から申請があった。内容は、施設のLED照明化、屋外コンセント設置、LED防犯灯設置、エアコン設置、雨どい修理、床修繕、火災報知器設置などである。

総務常任委員会

一般質問

14議員の視点と提案

※一般質問の掲載記事は議員本人が作成しています。

【一般質問とは？】

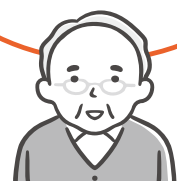
市政に関して議員が質問を行い、新たな施策の提案や意見を述べ、市政をより良い方向へ導くものです。

一般質問傍聴者へインタビュー

市民のための 熱い議論に感謝

今まで知らなかったことが分かりとても勉強になりました。
執行部と議会が我々市民のために熱い議論を交わっていて、本当によかったです。

80代男性（手堤）



戸田大我 議員 …… P9

- ・インターチェンジを最大限に生かした開発を
- ・優先する道路整備は

真家 功 議員 …… P9

- ・新交流拠点は将来負担を見極め検討を
- ・そららの現状と今後の発展

香取憲一 議員 …… P10

- ・保健相談センターのトイレ改修を要望する
- ・介護保険交付金について
- ・地域おこし協力隊の活躍状況

長津智之 議員 …… P10

- ・茨城空港周辺の企業立地の動向について
- ・特定外来生物

谷仲和雄 議員 …… P11

- ・市消防本部における課題の整理について
- ・農産物等ブランド戦略

島田清一郎 議員 …… P11

- ・地震の危機管理に対する市の対応方法は
- ・急傾斜地の舗装
- ・太陽光発電施設設置条例

村田春樹 議員 …… P12

- ・けやき通りを安全な通学路に
- ・切り株と夜間の安全
- ・登下校の暑さ対策
- ・UV カット眼鏡

福島ヤコビ 議員 …… P12

- ・なぜ窓口閉鎖と閉庁時間が同じなのか
- ・職員の働き方改革と残業
- ・体育館等のエアコン設置

鬼田岳哉 議員 …… P13

- ・羽鳥駅東口駐輪場、周辺環境の改善策は
- ・野犬対策の強化と協力者支援
- ・企業版ふるさと納税の推進
- ・食品公社の収益強化に向けて

宮内勇二 議員 …… P13

- ・水稻協働防除を2回実施へ
- ・市の良質米を守る
- ・全国大会等への出場支援

内田和彦 議員 …… P14

- ・感震ブレーカー設置補助の詳細は
- ・学校の防火対策と避難体制
- ・放課後児童クラブ

荒川一秀 議員 …… P14

- ・合併 20 年を振り返り現在の進捗を問う
- ・上下水道事業
- ・医療センターについて

山崎晴生 議員 …… P15

- ・地域ケア会議の役割と地域課題への施策は
- ・カスハラ対策の現状と対応

鈴木俊一 議員 …… P15

- ・子どもの学びと安全を
- ・小中学校の草刈
- ・幼稚園の音楽療育
- ・災害時の対応

本会議のライブ中継・録画映像が

視聴できます

令和8年第2回定例会アクセス数…5,805 件
これまでの累計アクセス数…3 万 1,836 件

スマホ・タブレットから



小美玉市
議会 HP



パソコンから

小美玉市議会



ライブ中継

LIVE が表示されている会議を選択し、ライブ中継をご覧ください。

録画映像配信

インターネット中継を行った過去の本会議をご覧ください。



インターチェンジを最大限に生かした開発を

とだ だいが
戸田 大我

録画映像

答弁 その好条件を生かして積極的に位置付けする

静岡県島田市・牧之原市のような、インターチェンジ

要望



▲先進地：相良牧之原 IC 周辺

答 都市建設部長 国や関係機関と協議を開始する条件として、政策上の明確な位置付けが必要となるが、2つの上位計画（総合計画・都市計画マスタープラン）は改定の時期にも来ており、農業振興とのバランスも図りながら、市民や関係機関の理解も得て、しっかりとした市の意思、位置付けを示し、速やかに検討が進められる準備を整えたい。

問

本市周辺にあるインターチェンジ（岩間・茨城空港北・石岡小美玉）の交通利便性を生かした活性化は、

答

都市建設部長 国や関係機関と協議を開始する条件として、政策上の明確な位置付けが必要となるが、2つの上位計画（総合計画・都市計画マスタープラン）は改定の時期にも来ており、農業振興とのバランスも図りながら、市民や関係機関の理解も得て、しっかりとした市の意思、位置付けを示し、速やかに検討が進められる準備を整えたい。

優先する道路整備は

問

市の道路整備計画及び各地区からの要望箇所について、優先箇所をどのように判断し、整備へ反映させているか。

答

都市建設部長 優先すべき路線を見極めた選択と集中の予算配分と費用対効果を考慮した事業着手が重要であると考えている。近年の社会情勢の変化等を踏まえ、都市計画マスタープランや通学路交通安全プログラムなどの見直し後は、計画に位置付けられた路線を優先的に推進していく。

要望

通学路をはじめとする優先道路の早期整備など安全で快適な道路環境の構築に向け一層のご尽力を願いたい。



新交流拠点は将来負担を見極め検討を

まいえ いさお
真家 功

録画映像

答弁 県・国と連携し集客力向上へ繋げる

問

新交流拠点整備について、県の支援、退役航空機移設費、市の将来負担を踏まえ、事業の妥当性を伺う。

答

副市長 県から県有地約2万2000㎡を事業用地として無償譲受する予定。ファントム2機の移設費は、県が負担するよう協議中。年間約2400万円の指定管理料には防衛省交付金を活用する見込み。教育旅行や企画展などで集客を図る。

要望

茨城空港事業の立ち上げから開港まで12年間携わり、空港には熱い思いがある。だからこそ、国・県との連携や将来の市民負担を見極め、事業の妥当性を検討することを要望する。

そららの現状と今後の発展

問

指定管理者制度導入後の利用者数や売上げ、新たな取組と効果を伺う。

答

産業経済部長 4月から7月で来場者数は22%増加、売上は36%増加した。全店舗で売

上げが増加し、レストランは17.9%増加となった。イベント方針の刷新や過ごしやすき空間づくり、ドッグランの開設などが好評。さらにドッグランを生かした企画、SNSによる情報発信、季節性を捉えたイベントなど、民間ならではの柔軟な取組が行われている。

問

サイクルステーションを市として積極的にPRし、市外・県外からのサイクリストを呼び込み、どのように交流人口の拡大に繋げるか伺う。

答

産業経済部長 利用拡大に関する企画や、効果的なPRを早急に講じるよう指定管理者に促していく。

要望

指定管理者に任せるだけでなく、運営状況や成果をしっかりと検証し、必要な支援や連携を行っていただきたい。そして、そららが市の交流、地域振興の拠点として、さらに発展することを要望する。



保健相談センターのトイレ改修を要望する

かとり けんいち
香取 憲一



録画映像

答弁 現在の利用スタイルに則し洋式化していく

問 小川保健相談センターのトイレが旧態依然である現状に対して、修繕を望む市民の声にいかに対応していくのか。

答 保健福祉部長 保健相談センターが平成3年に竣工して以来、一般利用トイレの改修工事は行っておらず、現在の利用スタイルに則していないため(和式トイレ中心、ウォシュレット、温水便座機能無し)、トイレ便器の洋式化を検討していく。



▲センター内トイレ

**介護保険
交付金について**

問 インセンティブ方式である介護保険機能強化推進交付金と努力者支援金の2つの交付金獲得の現状と課題は。

答 保健福祉部長 この2つのインセンティブ交付金については、令和7年度は48・1%で県内26位、令和8年度は48・4%で31位であった。課題

として成果指標の中の介護保険事業計画の進捗状況の分析や難聴高齢者の早期発見・介入に係る取組等への強化が今後充実化を図れる状況と認識しており、これらの事業を重点的に取り組んでいきながら高齢者の自立支援、重度防止、介護予防の充実化に向け邁進していく。

**地域おこし協力隊
の活躍状況**

問 隊員の現状と就農への支援体制、今後の制度展開への考えを伺う。

答 副市長 現在3名の隊員が就農を目指して受入農家の元で農業技術を学び、地元住民の皆さんとの交流を積極的に行いつつ、小美玉市のPR活動に励んでいる。市のサポート体制は、栽培技術、経営ノウハウ習得など、安心して定住就農できる支援をしていく予定。今後の募集計画は、本市の魅力や情報を市外に知っていただく役割を担う人材を募集し、「ふるさと住民登録制度」等を活用して将来の移住定住につなげていく。



茨城空港周辺の企業立地の動向について

ながつ としゆき
長津 智之



録画映像

答弁 現在はテクノパークへの企業誘致を最優先とする

問 適地選定調査のその後の進捗について伺う。

答 産業経済部長 昨年度、適地選定調査を実施し、企業誘致事業をより効果的に進める為、各候補地の地域特性やアクセス環境、開発可能性などの総合的な観点から、優先地区としてさらなる絞り込みを行った。県庁組織である、立地推進東京本部と企業情報などを共有し、同本部が有する広範囲なネットワークを活用した企業誘致活動を進めている。

問 茨城空港周辺に産業集積などを行う場合の課題等について伺う。

答 産業経済部長 企業誘致における課題の一つとして、農地転用などの農地法上の制約がある。この点については「地域未来投資促進法」による特例措置の適用と、重点促進区域の設定の可能性について、茨城県と協議し調査を進めている。

再質問

重点促進区域を設定する

と、市にはどのようなメリットがあるのか。

答 産業経済部長 重点促進区域を設定するメリットは、事業の実施場所が農用地区域や第一種農地である場合でも、所定の基準を満たせば農地転用が可能となる点がある。

特定外来生物

問 南米原産の水生物種ナガエツルノゲイトウは、発生・増殖すると在来種の生息環境を破壊し、食物連鎖など生態系バランスの損失を招くおそれがある。市内においての現状と農地等への影響を伺う。

答 産業経済部長 特定外来生物ナガエツルノゲイトウは、昨年度霞ヶ浦の湖水面に少数ではあるが自生が確認されたため、地元漁協、農政課、環境課で除却作業を行った。農地への影響は水田に侵入すると稲の育成を妨げたり、また、水路で繁殖してしまうと水の流れを阻害し、給排水に影響を与える。



市消防本部における課題の整理について

やなか かずお
谷中 和雄



録画映像

答弁 適切な部隊運用が不可欠、一体的に取り組む

問 保有車両台数に対する人員の充足率は約64%、部隊運用の状況及び職員数不足による部隊運用への弊害を問う。

答 消防長 部隊運用については、火災現場に2台の車両で出場するペア運用や部隊載せ替え運用など、限られた消防力を効果的に活用しながら、救急や火災などの緊急現場において支障をきたさない部隊運用に努めている。職員数の不足による部隊運用への弊害は、消火や救助の初動に遅れが生じる恐れがあるほか、長時間労働勤務や休日出勤など職員一人当たりの負担が増え、疲労の蓄積による健康面や重大な事故に繋がる判断ミスなどの危険性が懸念される。消防庁舎に求められる役割と機能は、火災や救急、自然災害などの緊急時に24時間体制で対応する防災拠点として、大規模災害等でも活動を継続できる安全性能や、関係機関との連絡機能を有した機動的かつ機能的な施設であること。消防の

責務を果たすには「適切な部隊運用」が不可欠であり、その根拠を成す「適正な消防職員定数」と「消防庁舎機能」は密接に関連していることから、一体的な施策として調査・検討に取り組む必要があると考える。



▲小美玉市消防本部（小川地内）

農産物等ブランド戦略

問 「小美玉のめぐみ」から「稼げる農業」へ、どのように繋げていくのか。

答 産業経済部長 茨城農業の将来ビジョン等との整合性や、県など関係機関と情報共有・連携を図る。

地震の危機管理に対する市の対応方法は

しまだ せいいちろう
島田 清一郎



録画映像

答弁 計画に基づき避難所設置、安否確認等を実施

問 地震への危機管理について、①避難所の設置運営②住民の安否確認③体の不自由な人、高齢者への避難援助、それぞれ市の対応方法を問う。

答 総務部長 避難所の設置は、市内公共施設等の29施設を被災状況に応じて開設する。運営は、市地域防災計画に基づき、市職員が配置され、避難者の協力を得て応急的に運営される。避難の長期化が見込まれる場合は、避難者による自主的な運営に移行する。住民の安否確認については、消防、警察、民生委員、避難支援関係者と連携し、巡回訪問や通報情報などで確認する。体の不自由な人、高齢者への避難援助については、避難行動要支援者名簿に基づき、職員が個別に電話により一斉に安否と支援内容の確認を行う。

急傾斜地の舗装

問 豪雨対策として、急傾斜地道路の舗装・整備が可能か問う。

答 都市建設部長 道路の舗装は、道路

整備指針により、必要性、緊急性および効率性を統合的に考慮し、用地協力をいただいた路線から順次事業に着手している。事業に着手できない急傾斜地道路については、砕石敷に代わる簡易的な舗装についても、あわせて検討を重ねていく。

太陽光発電施設設置条例

問 太陽光発電施設設置から生活環境を保全するための、設置条例制定の必要性について市の見解を問う。

答 市民生活部長 国の条例の動向、他自治体の条例の効果等を踏まえ、市内の苦情・相談や災害等の状況を勘案しながら、条例制定を検討していく。太陽光発電施設は、再生可能エネルギーの導入促進と、市民の生活環境や安全・安心の確保はいずれも重要な課題であることから、地域との共生を基本とし、適正な設置管理が図られるよう取り組む。



けやき通りを安全な通学路に

むらた はるき
村田 春樹



録画映像

答弁 ツツジ伐採し道路整備を検討



▲ツツジ伐採後のけやき通り

問

けやき通りの見通しと歩道・自転車通行帯をどう改善するか。

答

都市建設部長 25
区画のツツジを伐採し、今後を進める。羽鳥橋西側は歩道の平坦化などが必要。東側は路面標示による自転車通行帯を検討する。補助金確保にも取り組む。

切り株と夜間の安全

問

切り株と植樹ブロッックによる事故をどう防ぐか。

答

都市建設部長 草が生えないよう対策を進め、試験的な抜根も検討する。夜間に反射する道路びょうも検討する。

問

登下校の暑さ対策

答

登下校の暑さ対策に冷感パッドを使えないか。

答

教育部長 日傘や冷却タオルを認め、全校に冷水器を設置している。冷却パッドは必要性や利用ニーズ及び全国の実態等を踏まえ調査研究する。

答

市長 冷感パッドを含む暑さ対策に関しては、教育委員会と連携して進める。

問

子どもが日差しから目を守る眼鏡を、気兼ねなく使えるようにできないか。

答

教育長 保護者や子どもの意向を確認し、学校と連携する。

◎その他の質問

・いちょう通りの伐採後の切り株や、かえで通りの毛虫被害にも触れ、安全対策を求めた

なぜ窓口閉鎖と閉庁時間が同じなのか

ふくしま
福島 ヤヨヒ



録画映像

答弁 職員人件費抑制や業務効率化につなぐ



問

窓口の閉鎖時間と施設の閉庁時間を16時30分に統一した理由を伺う。

答

総務部長 これまで職員の勤務時間と窓口業務時間は17時15分であったことから、窓口終了後の事後処理を時間外で行う状況となっていた。そのため、閉庁時間を16時30分に早めることで、職員の時間外勤務の抑制と業務効率化が図られることから、実施したものである。今後は、閉庁時間の変更を市HPや広報紙などを通じて周知するとともに、電子申請などの利用方法なども周知していく。

職員の働き方改革と残業

問

市職員の規定された勤務時間と残業の対応、会計年度職員等の残業はどのように対応しているか伺う。

答

総務部長 勤務時間は労働基準法に準じて1日7時間45分と定めており、時間外勤務は、原則として月45時間、年360時間以内としている。

体育館等のエアコン設置

問

避難所にもなる体育館等のエアコン設置は進んでいるか。また、一般家庭へのエアコン設置の助成制度はあるか。

答

教育部長 避難所にもなる体育館等の大規模な公共施設25箇所のうち12箇所にエアコンが設置されている。エアコン未設置の施設には冷風機などを設置している。一般家庭に対する助成は、本定例会において「省エネエアコン買い替え支援事業」を補正予算で計上した。



羽鳥駅東口駐輪場・周辺環境の改善策は

おにた たけや
鬼田 岳哉



録画映像

答弁 他市事例を調査分析し、改善強化を行っていく

問

羽鳥駅東口北側駐輪場のみ出し駐輪や、周辺の治安悪化への対策は。

答

都市建設部長 他市の事例を調査分析し、放置自転車の撤去強化や将来的な屋根設置等を検討する。また、防犯カメラ作動中の表示を追加し、警察へ巡回強化を依頼した。

要望

デッドスペースの活用を含めた、根本的な環境改善を強く求める。

野犬対策の強化と協力者支援

問

市民生活の脅威となる野犬の対策強化と、ボランティア団体への支援拡充は。

答

市民生活部長 捕獲数は減少傾向にあるが依然多い。本年設立予定の動物愛護推進協議会等において現場の意見を伺い、本市として効果的な支援策を前向きに検討していく。

要望

目標時期を見据え、ボランティアと連携した実効性ある枠組みづくりを求める。

企業版ふるさと納税の推進

問

自主財源確保へ向けた、企業版ふるさと納税の今後の戦略は。

答

市長公室長 昨年度は20社から5,560万円の寄附を頂いた。今後は配置した専任職員を中心に、専用ポータルサイトの活用や市内・進出企業への営業活動を強化する。

食品公社の収益強化に向けて

問

第三セクター（※1）である小美玉ふるさと食品公社の収益強化の進捗は。

答

産業経済部長 中期経営計画を策定し、販路整理や新商品開発を進めた結果、本年第1四半期の経常利益がプラスに転じるなど収益改善の兆しが見え始めている。引き続き筆頭株主としての確かな助言・提言を行っていく。

◎その他の質問

・シテイプロモーションとブランドメッセージ

※1 第三セクター…地方自治体と民間企業が共同で出資・設立した法人



水稲協働防除を2回実施へ

みやうち ゆうじ
宮内 勇二



録画映像

答弁 追加防除は慎重に検討

問

異常高温等で病害虫被害が懸念される中、水稲協働防除の実施状況と追加防除について伺う。

答

産業経済部長 年1回、ラジコンヘリによる農薬空中散布を実施し、市は農薬・作業委託料の一部を補助している。追加防除は県も推奨しているが、品種や実施時期の調整が難しく、生産者ごとの事情に合わせ各戸で実施する方法が望ましいと考えている。

市の良質米を守る

問

米価の先行きが不透明な中、品質向上と農家所得を守るため、追加防除を前向きに検討すべきでは。

答

産業経済部長 生産者のニーズや事業主体の意向を把握しながら、追加防除を共同で行うべきか、引き続き慎重に検討する。

要望

農業者の高齢化が進み、異常気象が常態化しつつある

中で、今までと同じ農業支援を続けていくだけで、本当に10年後の小美玉市の基幹産業である農業を守ることができると考えていただきたい。

全国大会などへの出場支援

問

物価高騰や交通・宿泊費の上昇を踏まえ、選手や保護者が安心して挑戦できる制度への見直し、支援を拡充すべきでは。

答

教育部長 年1回の交付制限が課題で、要綱の見直しが必要と認識している。要綱改正に向け検討を進め、スポーツ推進審議会で協議の上、早期の運用開始を目指す。

要望

挑戦する選手をしっかりと後押しする制度に見直し、この小美玉市から世界へ飛び立つ選手が出てくることを願う。



感震ブレーカー設置補助の詳細は

うちだ かずひこ
内田 和彦



録画映像

答弁 1 世帯につき 1 回限り補助する予定である

問 今後予定される感震ブレーカー設置促進事業補助の詳細は。

答 総務部長 感震ブレーカーは、分電盤タイプ、コンセントタイプ、簡易タイプなど様々な種類があり、各家庭の住宅事情に応じて選択できるようにしたいと考えている。

補助対象者は、市内に住宅を所有し、居住している方を予定。補助は、1 世帯につき 1 回限りとし、購入・設置費の 3 分の 2 を補助する予定である。

学校の防火対策と避難体制

問 本年 6 月に東京都北区の学校で火災

があり、初期対応や避難体制などの課題が浮き彫りとなった。学校における本市の防火対策と避難体制を伺う。

答 教育長 防火対策として、各学校に設置されている自動火災報知設備、消火器、屋内消火栓、防火扉等の消防用設備

を有資格者が定期的に点検

を行っている。点検結果を、教育委員会が報告を受け、不具合が確認された場合には修繕等の改善措置を講じている。避難体制について

は、火災想定での避難訓練を年 1、2 回実施しており、事前通告なしの訓練や休み時間など教職員が近くにいる時間帯を想定した訓練を行うなど、各学校で工夫して実施している。

放課後児童クラブ

問 放課後児童クラブは、育児休業期間中でも市町村判断で利用可能と国が示しているが、本市の見解を伺う。

答 こども未来部長 本市では、職場復帰が前提となる育児休業は労働等に含まれるものと解釈し、産前休暇に入る前から放課後児童クラブを利用していただく方については、育児休業を取得後も引き続き利用を認める方向で運用していく。



合併20年を振り返り現在の進捗を問う

あらかわ かずひで
荒川 一秀



録画映像

答弁 合併時の考え方は総合計画にも継承されている

問 本市は合併から 20 年が経過した。合併時の調整事項の現在の進捗を伺う。

答 市長公室長 合併時の調整事項は、順次調整を進め、ほとんどの事務事業が完了している。地域の特性を生かしつつ、総合的かつ計画的な土地利用を進める考え方は、合併から 20 年経過した現在の総合計画にも継承されている。

上下水道事業

問 上下水道事業について、現在の進捗と今後の整備計画を伺う。

答 都市建設部長 下水道全体の進捗状況は、下水道全体計画区域面積 2644 ha のうち、整備面積は 1242 ha で整備率は 46・97% である。事業区域整備手法及び事業規模等を精査し、公共下水道、合併処理浄化槽、農業集落排水施設の再編の方向性を整理していく。

医療センターについて

問 小美玉市医療センターに係る予算の詳細と今後の展望を伺う。

答 保健福祉部長 小美玉市医療センターは平成 31 年に病院存続を第 1 目的とし、社会医療法人財団古宿会に民間移譲後、古宿会が新しい病院を建設し、令和 3 年度から竣工した。古宿会が新病院の開院に必要な整備を行ったことから、市は運営費として、令和 2 年度から 11 年度までの 10 年間で総額 12 億 9749 万円の交付金を交付することとなっている

(※参考、平成 20 年度から 30 年度までの 11 年間の指定管理料は 26 億 7312 万円)。今後は、地域の基幹病院としての役割を担う医療センターの存在意義はますます大きなものになると考える。市民が安心して必要な医療を受けることができる地域医療の存続という観点から、診療科ごとの新診療日数の増加など、診療体制のさらなる拡充を要望していく。



地域ケア会議の役割と地域課題への施策は

やまざき はるお
山崎 晴生



録画映像

答弁 令和9年度から会議の役割を整理する

問

地域ケア会議（※1）で把握した課題を、地域づくりや施策へどうつなげているのか。

答

保健福祉部長 本市では、地域包括ケア会議と地域ケアシステム推進会議で個別支援を検討し、地域課題の抽出・対応を行っている。一方、類似事例による協議の形骸化や、地域課題の抽出・対応方法が明確でないこと、資料作成や会議参加の負担、会議の目的の重複などを課題として認識している。令和9年度からは、重層的支援体制整備事業（※2）の中で役割を整理し、個別事例から見える地域課題を地域づくりや支援体制の整備につなげ、実効性ある仕組みとしていく。

提案

事例の検討の対象や回数を見直すとともに、認知症、移動、買い物など共通する課題を集積・整理し、既存事業の改善や施策につなげる仕組みを提案する。

カスタハラ対策の現状と対応

問

カスタマーハラスメントの実態把握と、職員一人に抱え込ませない組織的な対応について伺う。

答

総務部長 本市では、対策規程と対応マニュアルを策定し、発生時には上司への報告、複数人での対応、課内での情報・対応方針の共有を行う。必要に応じて副市長を委員長とする対策委員会による全庁的な対応につなげる。また、人事課を相談窓口として職員を支援するほか、電話録音、防犯カメラの増設、職員研修などの対策にも取り組んでいる。

提案

正当な意見や苦情には丁寧に対応しつつ、対応に苦慮した事例を蓄積・共有し、実践的な職員研修に活用することで、規程やマニュアルが現場で機能する仕組みづくりを提案する。

※1 地域ケア会議…医療・介護職員や地域関係者などが集まり、高齢者支援内容と地域課題を話し合う会議
※2 重層的支援体制整備事業…課題を抱える人・世帯に対し、支援体制の垣根を越えて包括的に支援できるよう、行政、地域、支援機関など様々な部署が重なりあって支援する事業



子どもの学びと安全を

すずき しゅんいち
鈴木 俊一



録画映像

答弁 教育環境の充実を進める

問

生成AIやSNSと、子どもたちの学習について市の考えは。

答

教育長 令和8年9月から児童生徒が対話型生成AIを利用できる環境を整備した。情報モラル教育と併せ、安全で効果的な活用を進めていく。

小中学校の草刈

問

学校の草刈りについて、保護者や教職員の負担を軽減できないか。

答

教育長 奉仕作業は各学校で年2、3回程度実施している。保護者の協力割合には学校間で差があり、刈払い機などの機械整備についても要望を踏まえ検討している。

幼稚園の音楽療育

問

幼稚園で音楽を活用した療育や発達支援をさらに充実できないか。

答

教育長 歌唱やリズム遊び、楽器作りや演奏などを実施しており、コミュニケーション能力や情緒の安定、協調性の育成にも効果がある。今後、教職員研修や設備の充実に努める。

災害時の対応

問

災害時に支援が必要な方の避難と、停電時の避難所の電源・空調対策は。

答

総務部長 避難行動要支援者名簿を継続して更新し、関係機関と連携して避難支援を行う。避難所では発電機、蓄電池、公用EVなどを活用するほか、一部の学校には停電時にも使用できる空調設備を整備しており、今後、も計画的に進める。





議員の思いをもっと知りたい

いつもご苦労様です。今後は個々の議員の考え方、市政に対しての想い、実現したいことなども載せていただければと思います。一度に全員は載せられないと思いますが、何人かずつでもお聞きしたいです。(羽鳥・T)

一般質問に期待しています

一般質問をする議員さんは大体決まっています、今まで一度も質問していない議員さん多いと思います。質問することは相当な勉強しなければならないので、まだ質問したことがない議員さんは頑張ってほしいです。(田木谷・W)

市民の声に目を向けて

小美玉市民でしたが結婚して引っ越し、改めて小美玉市の住みやすさを感じました。市民からの声を聞いて、こんなふうに議会が行われて実現しているんだと本誌で知りました。実家は小美玉市なので離れても「小美玉市議会だより」や広報誌をスーパーでもらってきて読んでいます。私の実家の道路は市道ですが、前は砂利を敷いてくれたのに最近は敷いてくれません…そういう細かいところにも目を配ってほしいです。(土浦市・A)

いつも楽しみにしています

議会だよりは毎回楽しみにしており、分かりやすく、また読みやすいと感じます。これからも市民の生活安定安心と市の発展、次の世代への橋渡しのためによりよろしくお願いします。(下吉影・T)

福祉事業に感謝しています

新興住宅地購入で35年前に住み始めた親が高齢化のため東京から小川に住み、やっと慣れてきたところで、まだまだわからないことばかりです。デイケアはじめ福祉事業には感謝しています。(小川・N)

議会のしくみがよく分かりました

今号では「市議会のしくみ」の特集などがあり、とても分かりやすく書かれていたので、「なるほど」と思いながら読むことができました。(高田・M)

暮らしを支える交通に期待

興味深く拝読しました。将来的には自動運転によるタクシーが期待されますが、現状は有人によるタクシーなどに頼らざるを得ません。富山県朝日町などの先進地を参考に、住民への暮らし向上に努めていただきたいです。(京都市・K)



全文はこちら
(議会HP)

知りたい・聞きたい・みなさんの声／

今号を読んで当てよう！

第80回 プレゼントクイズ

Mail gikai@city.omitama.lg.jp

FAX 0299-48-1199

応募締切

令和8年 11月30日(月)まで

※当日消印有効



当たる！

今回の議会だより第83号の中から、問題を3つ出題します。

正解した方の中から抽選で「QUOカード2,000円分」を10名にプレゼントします！

ぜひご応募ください！



Q1 令和7年度の総
決算額は

〇〇〇億円



Q2 一般質問で音楽療育について答
弁した人は

〇〇〇〇



Q3 令和8年
第4回定例会は

12月〇日開会予定

電子申請・はがき・FAX・メールで住所、氏名、「クイズの答えを明記」してご応募ください。

また、議会や本紙に対するご意見やご感想をあわせてお寄せください。

〒319-0192 小美玉市堅倉835 小美玉市議会事務局宛



応募はこちら↑

◆応募に関する個人情報はプレゼントの送付以外には利用しません。 ◆当選者の発表はQUOカードの発送をもってお知らせします。

◆前回 第79回クイズの正解 問①…長津智之 問②…消防長 問③…28

市民の声をカタチに… 「語り合う場」がまちを育てる 市民と議会の意見交換会を開催しました！

32名が参加！

日時：令和8年 7月4日（土）
13：30～16：00
場所：市役所本庁舎2階会議室
参加者：市民32名 議員16名



テーマ① 防災・減災

- 地域のコミュニケーションが不足している。
- 防災無線が聞こえない、分かりづらい。
- 避難所がペット同伴可能になるといい。



テーマ② 農業と食

- 美味しいものがたくさんあるのに発信力が不足している。
- 特産品の販路拡大（輸出）に挑戦してみてもいい。
- ふるさと納税返礼品にもっと農産物を。



テーマ③ 若者の定住・還流

- 地元では仕事のバリエーションが少ない。
- さらなる子育て支援を拡充してほしい。
- 楽しいまちづくりよりも、住みやすいまちづくりを！



3つのテーマについてグループに分かれて話し合いました



意見交換後、みんなで一緒に笑顔で記念撮影！

市民と議員の
意見交換会

議会から

- いただいたご意見やアイディアは、市政に反映できるように生かしてまいります。
- 今後も市民の皆さんとの対話を通じ継続的な議会改革を推進していきます！

基地周辺の生活環境対策を要望しました

令和8年7月15日、24日、百里基地・茨城空港対策特別委員会は、市長・議長・副議長・副委員長とともに、北関東防衛局及び百里基地を訪問し、訓練に伴う騒音など、基地周辺の生活環境に係る対策について要望しました。

訪問時には、訓練の安全対策の徹底や飛行時間帯の自粛をはじめ、防音対策への助成、

交付金制度の延長・拡充、新たな制度の創設などを求め、地域住民の生活への十分な配慮と、周辺対策のさらなる充実を強く要望しました。

市では、今後も基地と地域との良好な関係を維持しながら、住民の安心・安全な生活環境の確保に取り組んでいきます。

陳情
基地対策を



7/24 北関東防衛局に陳情書を提出



7/15 百里基地司令に申入書を提出



熊本地震による被害者支援のため 義援金を贈りました

令和8年7月28日熊本県熊本地方を震源とする最大震度7の大きな地震が発生しました。
震災により被災された皆様方に心よりお見舞いを申し上げます。

当市議会は、被災された方々が一日も早く平穏な生活に戻れることを願い、令和8年
9月4日に九州市議会議長会へ義援金10万円を寄託しました。

報告

議会のリアルを傍聴で！

日	月	火	水	木	金	土
	2026年 12月	1	2 議会運営委員会 全員協議会 本会議 開会	3 議案調査	4 議案調査	5
6	7 議案調査	8 本会議 一般質問	9 本会議 一般質問	10 本会議 一般質問	11 常任委員会	12
13	14 議案調査	15 常任委員会	16 常任委員会	17 特別委員会 予備日	18 議会運営委員会 全員協議会 本会議 討論・採決 閉会	19

本会議 傍聴できます（モニター放映あり）

委員会 傍聴要確認（モニター放映なし）

- 議場は市役所本庁舎3階。予約不要／受付あり（氏名・住所等）
 - 委員会等の日程は本会議（12月2日（水）開催）で決定します。
- 議会事務局 Tel. 0299-48-1111（内線1302）にお問い合わせください。

竹原小学校の
稲刈り風景を見学

大収穫！
ぼくらの笑顔も豊作だ！



次の定例会は
12月2日（水）
開会予定

発行 小美玉市議会
（発行責任者…議長 石井 旭）
編集 広報特別委員会

TEL 0299-48-1111 内線(1303)
FAX 0299-48-1199
〒319-0192
茨城県小美玉市堅倉835
本庁舎3階

編集のそのあとで 議論を通して、市政を知る

暑さも少しずつ和らぎ、秋の気配を感じる季節となりました。市民の皆様には、いかがお過ごしでしょうか。このたびの台風により被害を受けられた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧と、皆様が安心して生活できる日が戻りますことを心より願っております。

9月議会は、前年度の市政運営と予算の執行状況を審査する「決算議会」ともいわれる重要な議会です。決算審査をはじめ、さまざまな議案について審議が行われました。また、今回は14人の議員が一般質問に立ち、市政のさまざまな課題について活発な議論が交わされました。本紙を通して、議会でどのような議論が行われたのか、ぜひご覧ください。これからも議会の活動を分かりやすくお伝えし、皆様に身近に感じていただける議会広報を目指してまいります。

市民の皆様には日頃より市議会の活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。これからも皆様の声を大切に、開かれた議会を目指してまいります。今後とも市議会へのご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。